

探検！郵便局&冬の絵手紙・年賀状教室

盛会御礼新聞 ほすとーすと登場

平成28年12月11日

TOSS 高知

大盛況！冬の絵手紙教室

今年で2回目となる冬の絵手紙・年賀状教室。参加児童34名。保護者26名。計60名の大盛況。「年賀状を書いたことがない人？」

の問いに対して十人程の児童が手を挙げていた。初めて書く年賀状がこの絵手紙教室。楽しく手紙・ハガキ文化に触れて欲しいという郵便局とTOSSの思いが一層強くなった。開会挨拶は高知中央郵便局の山田局長。「しっかり思うような年賀状を作り、ぜひお友達に出してくだなさい。」



ポストの授業

世界一受けたい郵便の授業。今回のテーマは「ポスト」。街中にある赤いポスト。子どもたちもポストが赤色だということは知っていた。では、「なぜ赤いのか？」もちろん、幾つかの理由



があるのだが、最も簡単な理由を、高知中央郵便局の村上さんに答えていただいた。

「それはね目立つからだよ。」そこで、ポストは本当に目立つのかを十枚の写真を使って確認した。その結果、分かったことは・・・「目立つ！」

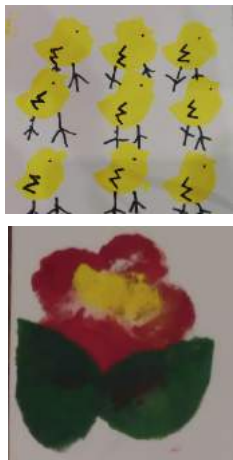
ステンシルで年賀状づくり

まずは、ステンシルを体験してもらおう。ひよこ型の型紙を使って、黄色い絵の具を塗っている。そっと型紙を外すと、ハガキの上には鮮やかなひよこが浮かび上がっていた。当然、うまくいかないこともある。絵の具が滲んで、ひよこに見えないなど。それでも気にしない。次々とハガキの上にひよこを量産す

る子どもたち。徐々に慣れてきたのか、成功率が上がっていく。失敗を恐れずにどんどん作業をする姿が頼もしい。次に、椿の花をステンシルで描く。赤い絵の具を型紙の枠の部分にだけ塗り、中央は黄色。



それだけで美しい椿の出来上がり。椿の花は赤色を薄くぼやかすように塗るのがポイントである。こちらも失敗を恐れない子どもたち。創作意欲が溢れ出てきている。



ある保護者が教えてくれた。

「作った年賀八ガキ、ジイジに送るようです。『手描きの年賀八ガキ、喜ぶと思うよ！』と声を掛けると嬉しそうでした。」

おじいちゃんと孫が年賀状で交流する。孫から手描きの年賀状が届く。おじいちゃんからも手

描きの年賀状が届く。このように世代を超えて手紙・ハガキ文化が受け継がれていく。

約十五分のミニ探検であった。記念品と修了証の授与
最後は高知中央郵便局長・村上さんの閉会挨拶。「みんな、一生懸命に年賀状を作ってくれてありがとう。」

子どもたちが楽しみにしていたスペシャルゲストを大声で呼んだ。「ほすとーすと！」

入り口から手を振って登場したのは、人気ゆるキャラ・ぼすとーすだ。まの仲間・ぼすとーすとだ。



ぼすとーすとに入っていたのは高知東郵便局の片岡総務部長だ。参加してくれた子どもたちのために長時間、ぼすとーすとの姿でいてくださった。

探検！高知中央郵便局

今回の探検は非常に充実していた。まずは地下一階の郵便バイク駐輪場。日曜日のため、なんと200台もバイクが並んでいた。その眺めは壮観であった。



お父さん方が写真を撮りまくっていた。その後、一階のポスト見学、二階の高速区分機をまわる

絵手紙も楽しくできました。ミニゲームもあり、子どもたちもいろいろな体験ができて嬉しそうでした。今日の年賀状作りがとても楽しかったのですが、また家でもやってみたいです。

郵便局の見たことのないところが見れて（ママ）すごく良かった。

保護者の感想より（一部抜粋）

・毎年、年賀状の数も減ってきているので、このようなイベントで子どもが年賀状の作成を嬉しそうにしているのを見て参加してよかったと思いました。

・とても楽しかったです。家でもやってみたいし、家でするときには別のものを作ってみたいです。

